

EU Indicators

欧州経済指標コメント：7-9月期ドイツGDP（確報）

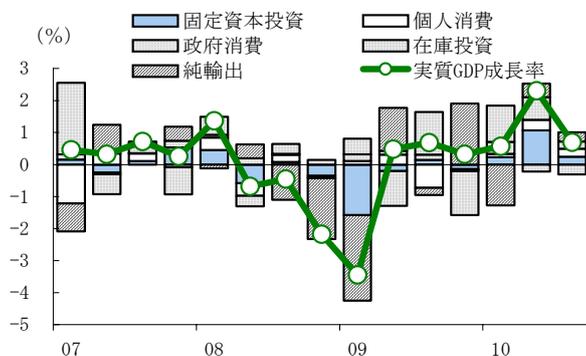
発表日：2010年11月24日（水）

～前期の高成長から減速も堅調持続、内外需の成長ミックスも良好～

第一生命経済研究所 経済調査部
主任エコノミスト 田中 理
03-5221-4527

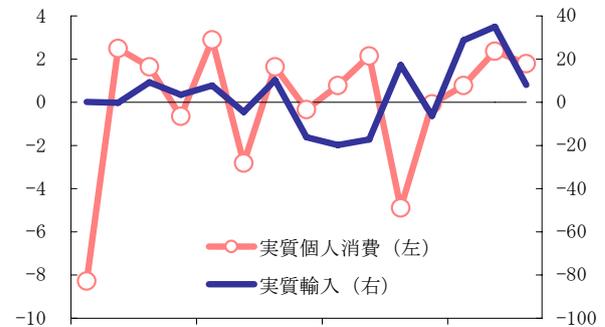
- 既報の通り、7-9月期のドイツの実質GDP成長率は前期比+0.7%、同年率+2.8%と、前期の高成長（同+2.3%、同年率+9.5%）から減速したが、なお堅調な回復を続けている。新たに公表された需要項目別の内訳は、在庫投資がマイナス寄与となったものの、個人消費、政府消費、固定資本投資、外需寄与度が緩やかな景気拡大を後押しした（左図・表）。
- 個人消費は前期比+0.4%と、W杯特需もあった前期（同+0.6%）からやや減速したが、堅調な増勢を維持。雇用環境の改善が消費拡大につながっている。固定資本投資は前期比+1.3%と、建設投資の大幅増で盛り上がった前期（同+5.6%）から減速したものの、予想以上に底堅い。建設投資は同▲0.4%と小幅マイナスにとどまり、年初の天候不順による建設活動の後ズレで盛り上がった前期（同+6.9%）からの反動減は僅か。建設以外の設備投資は3四半期連続で同+4%前後の伸びが続いており、投資の基調は底堅い。在庫投資は3四半期振りのマイナス寄与となったが、最終需要の増加が続いており、企業の予想を上回るペースで需要が回復した可能性がある。外需は同+0.3%ポイントと前期（同+0.4%ポイント）並みのプラス寄与を維持。輸入も3四半期連続で増加しており（右図）、ドイツの景気拡大の恩恵は他のユーロ加盟国に全く及んでいない訳ではない。

■ドイツ：実質GDP成長率（前期比年率、%）



出所：ドイツ連邦統計局

■ドイツ：個人消費と輸入（前期比年率、%）



出所：ドイツ連邦統計局

■ドイツGDP（前期比年率<%>、括弧内は寄与度<%ポイント>）

	名目 GDP	実質 GDP	内需				外需			
			個人消費	政府支出	固定資本 投資	在庫	輸出	輸入		
09/1-3月期	▲ 11.2	▲ 13.1	(▲ 2.8)	0.8	4.5	▲ 27.6	(2.0)	(▲ 10.3)	▲ 35.0	▲ 19.7
09/4-6月期	3.0	1.9	(▲ 3.5)	2.1	2.4	▲ 4.1	(▲ 4.3)	(5.5)	▲ 5.3	▲ 17.2
09/7-9月期	4.9	2.8	(3.7)	▲ 4.9	3.4	3.1	(5.4)	(▲ 0.9)	13.4	17.3
09/10-12月期	1.4	1.3	(▲ 6.6)	▲ 0.1	▲ 1.1	▲ 3.0	(▲ 5.4)	(7.8)	11.2	▲ 6.2
10/1-3月期	2.9	2.3	(7.3)	0.8	7.8	4.8	(4.6)	(▲ 5.0)	12.5	28.7
10/4-6月期	9.7	9.5	(7.8)	2.4	▲ 4.3	24.2	(2.8)	(1.7)	35.6	34.9
10/7-9月期	2.9	2.8	(1.6)	1.8	4.6	5.1	(▲ 1.2)	(1.2)	9.6	8.0

出所：ドイツ連邦統計局

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。